

令和5（2023）年度

おとめぶんらく かんしょうかい

# 乙女文楽鑑賞会

「乙女文楽」は、文楽から派生した女性の一人遣いによる人形浄瑠璃で、川崎市地域文化財（無形文化財）として顕彰されています。大正時代から昭和初期に五世桐竹門造たちが考案し、桐竹智恵子に引き継がれ、現在は人形劇団ひとみ座が継承しています。

また、ひとみ座乙女文楽の座員が講師となって毎年子どもたちに乙女文楽教室を開催しており、今回はその教室修了生が演目を披露します。

上演とともに演目の解説および質問コーナーを予定しています。

修了生の初々しい上演をお楽しみください。

※感染症等の予防のため、会場入り口にて手指消毒を実施し、発熱のある方の入場をお断りいたします。



（撮影 熊谷香織）



日 時：令和5年12月17日（日）  
午前11時～11時45分（開場：10時45分）  
上演15分／解説15分／質問コーナー15分  
場 所：中原図書館6階多目的室  
出 演：ひとみ座乙女文楽教室の修了生  
演 目：二人三番叟（ににんさんばそう）  
定 員：小学生以上の方 先着30名  
（参加費無料）  
申 込：12月1日（金）10時から受付開始  
中原図書館6階カウンター・電話にて  
問合せ：川崎市立中原図書館（TEL044-722-4932）

主催：川崎市立中原図書館 協力：（公財）現代人形劇センター